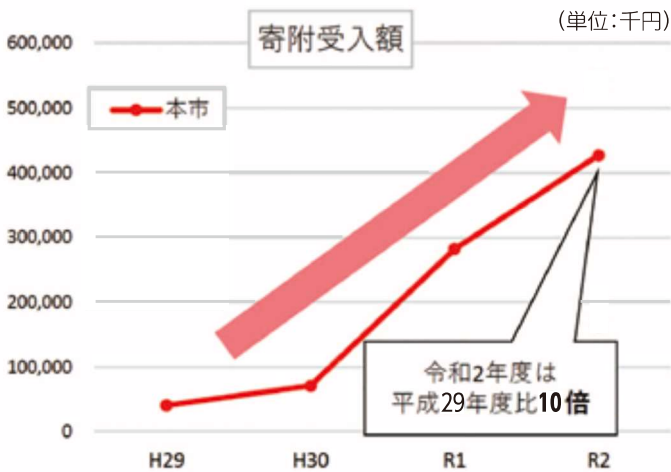


令和2年度 ふるさと納税で4.3億円を受け入れました

問い合わせ 経営企画課 企画政策係(☎内線535)
ページID:1206

魅力向上に取り組み、寄附が大幅アップ！

市外に住むふるさと太宰府を愛する人などから毎年多くの寄附を受け入れています。
下グラフのように、受入額は毎年増え、**令和2年度は平成29年度比約10倍の4.3億円**もの寄附を受け入れました。



受け入れた寄附金は、寄附者の希望する使途に応じて活用しています。
令和2年度は、下表の事業に活用しました。

使 途	寄附金額(円)
「太宰府まるごと博物館」推進	20,730,000
総合計画に基づく各種支援	48,955,000
太宰府 Beautiful Harmony ファンド	177,047,285
特に指定しない	183,039,660
合計	429,771,945

本市としても、毎年多くの人から寄附を受けられるように、令和2年度は、お礼の品を193点から383点に拡充し、太宰府市に来てもらって体験できるコト消費の展開、共感を得られる寄附の使途の拡充、太宰府Beautiful Harmonyファンドをはじめとしたクラウドファンディングの実施など、さまざまな事業を展開しました。

令和3年度からは、内閣府の認可を受け、企業版ふるさと納税の受け入れを開始しました。「梅プロジェクト」のクラウドファンディングも12月末まで実施中です。

企業版ふるさと太宰府応援寄附



令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト ガバメントクラウドファンディング



お礼品も、随時拡充を続けていますので、事業所の皆さんは、太宰府らしい地場産品の提供をぜひよろしくお願いします。



今後とも魅力的な事業を展開していきますので、ぜひとも太宰府市の応援をお願いします。

多くの人は地方のふるさとで生まれ、そこで医療や教育などさまざまな住民サービスを受けて育ちますが、やがて進学や就職で都会へ移り納税を行います。その結果、都会の自治体は税収が増えますが、自分が生まれ育ったふるさとの自治体には税収が入りません。

ふるさと納税は、このように地方で育て、都会で働く人の「今は都会に住んでいても、自分を育ててくれたふるさとに、自分の意思でいくらかでも納税できる制度があっても良いのではないか」という思いから生まれた制度です。

右) 出典:総務省「ふるさと納税ポータルサイト」

